

商品  すべて  国内株式  米国株式  投資信託  債券  
 SBIラップ

期間  約定日  受渡日

2026/06/19 から 2026/06/19

種類  すべて  現物  信用

口座  すべて  特定  一般  NISA (成長)  旧NISA

### 今日の相場について

前場で先週のようなボラがあってすごくやりやすかった。今週の相場は自分にはあまりボラが無く感じてやりにくかった。

結局利益額は最終的にあまり変わらなかったが、ルール通り値幅を伸ばすことを徹底できない自分が情けない。

今日は上手くいった。理由を考えてみるとエントリーの意識に、損切幅がかなり少なく済む場所でエントリーを徹底できていることが挙げられる。自然と引き付けることが出来て、最低限利確出来る値幅を確保できる確率が上がっているのだろう。上手くいく日の共通点は、圧倒的に損切が早い時。今日もそう。やはり即損切できて即反発が狙える場所でエントリー・損切をルール通り行って、伸ばすときは自然と値幅が取れる取引が良い感じ。

### 反省

①→エントリー・利確ともにスキャ狙い。いったんのレジスタンス・サポートを確認して、損切幅が5ティック以内でおさまり、かつ即反発が期待できる場所に絞りエントリー。エントリーが良いと損切になるにしても損切する瞬間に少し戻すことが多いからかなり期待値高めだと思う。以前は寄り付き付近は損切幅長めで、値幅が取れそうな場所を狙うことがほとんどだったが、取れない時の損切額がなかなか大きく、損切になったときのメンタルコントロールが難しかった。なのでメンタルを安定させるために、トレンドの方向性が確認できるまで、寄り付近は取引ししない方が良いと思っていた。しかし、何か月もずっと板とチャートをているといったんの上昇・下落が収まるポイントが見えてきた。長くは持てない手法だが、寄り付近はこのやり方でスキャ、トレンドが定まったら値幅を取りに行くという風にしたらよさそうと感じた。ただ、エントリーをかなり丁寧にしないと速攻で貫かれるのと、損切を少しでも躊躇すると結構持っていられるから、相当丁寧に取引が必要。値幅も欲張ったらやられるから一度ズドンが来たらそこで利確は必須。

②値幅が狙えるポイントだった。IX金属は良いが、ソフパンは完全に早利確でビビっているだけだった。ルール通りに利確したらあと50ティック取れた。値幅を逃したことももちろんだけど、ルールを守らず自分を信じ切らずにビビって早利確後、値幅が拡大していくのを眺めることしかできない自分がすごく情けない。悔しい。

③→エントリーする期待値が無いと今日で確信した。こういうポイントでいつもエントリーしているが、大体損切になっている。それでいつも足が変わるのを待った方が良かったと反省している。次はこのポイントではショートした方が期待値高いと思う。検証を続ける。ロングであれば足が変わるのを待つ。ショートであれば5分線をサポートにしてショートがよさそう。

④→設定した損切額まで待てずに、自分を信じ切れずに値動きが弱いからビビって損切。プラスではあるが損切のようなもの。このエントリーは、設定した損切ラインまでは最低でも待つべきだった。最大で70ティックを見た後に20ティックの利確だが、こういうポイントを逃しているようでは、トータルでプラスにする期待値を踏みにじっている。

⑤→⑤:1回目の取引で、体感2秒程損切を躊躇してしまった。久しぶりに甘えが生じたが、いかんいかんと損切。こういう甘えが取引全体に波及するからため 事前に設定した損切ラインに到達した瞬間即損切 損切した瞬間に利確したい方向へ戻すのはエントリーが悪いだけ。損切自体は悪くないのだから甘えない。